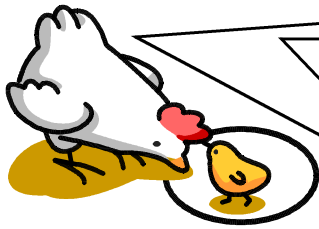


令和3年6月17日

八戸市立新井田小学校  
同 父母と教師の会



啐啄 NO.744

☎ 25-5125  
☎ 25-3150

## できることに目を向けてほめましょう

校長 成田明彦



夏休み前最大の学校行事である運動会を無事に終了できた喜びを保護者の皆様と分かち合いたいと思います。今まで当たり前前に思っていた日常が、実はたくさんの人の支えや協力があって成り立っていたことに、今回のパンデミックを通じて改めて気づかされました。早朝奉仕活動で運動会に向けての環境整備に直接力を貸してくださった地域の方や保護者の方がたくさんいました。本当にありがとうございます。

また、毎日、家族みんなで検温やマスク着用、手洗いや消毒などコロナ感染防止に向けた「新しい生活様式」の取り組みを継続してくださった方がこの大館・新井田地区だけでなく八戸市に大勢いらしたお陰で、運動会を開催することができたと実感しています。安全な生活への配慮をしてくださった皆様に感謝申し上げます。

今月18日に予定していた全校遠足を中止することにいたしました。集団での飲食は危険と判断したからですが、楽しみにしていた子どもたちには申し訳ない思いでいっぱいです。この遠足の最大の目的は、縦割り班と一緒に活動することで仲良く活動できる人間関係を育むことでしたので、18日には校内で縦割り班ごとに6年生が考えたゲーム等をする時間を設けて親睦を深める予定です。また、来月には5年生の宿泊学習を宿泊をしないで臨海学習に変更して種差少年自然の家で実施する予定です。8月下旬には6年生の修学旅行も予定されています。どちらも学校から離れての行事になります。学校としてもコロナウィルス感染防止に十分配慮し、できる限り安全・安心な環境の中で実施できるようにいたしますので、ご家庭におかれましても引き続き「新しい生活様式」へのご協力をお願いいたします。

さて、私も教員として、また、一人の親として子どもを何とか一人前に育てようと頑張ってきました。「あれもできるようにさせたい。これもまだまだ力不足だ。」という意識が強すぎて、子どものできないことに目がいくことが多かったように思います。無論、このこと自体は悪いことではないし、子どもの成長を願うおとなにとって極めて普通のことです。これによって子どもの成長が促されたこともたくさんあったように思います。しかし、一方で、できないことを次々と要求される子どもの心に少しずつストレスが蓄積されていく恐れもあります。できるようになったことを共に喜び合い、大いに褒めてあげることで、その不安は解消されます。人間本来がもつ承認欲求や自己実現の欲求が満たされるからです。できないことばかりに目を向けるのではなく、子どものできることに目を向けてみましょう。同じできるでも、前よりうまくできるようになっていたり、早くできるようになっていたりすることが必ずあるはずですよ。

子どもにとって望ましい成長につながることをタイミングよく褒め、バランスよく子どもに適度な負荷をかけるさじ加減で子どもは大きく変わります。学校からお子さんのことで連絡がいくのは、何か問題があった場合がほとんどで、大変申し訳なく思っています。お子さんの頑張りや成長を学校から家庭に、家庭から学校に伝え合うことが必要だと感じています。



「啐啄」(そったく)：「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、  
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。